

## 竹笛工作教室

令和元年5月26日（日）9：30～15：00

参加人数：6人 講師：高林行善さん

竹笛を作るには本来は、竹を採取し処理してから3年ほど置き、加工、彫り、仕上げといくつもの工程があつて完成までかなりの時間を要するものですが、教室では時間の都合上、完成まであと一步の竹笛を講師が用意してくれました。

当日は午前中に笛を完成させて午後は演奏の練習をしました。参加者は製作にも演奏の練習にも休憩を忘れるほど熱心に取り組み、最後には「自分で完成させた笛を吹けるなんて感動です。」と語っていました。

### 1 講師の紹介

講師の高林さんは庭師をされていますが、20年ほど前から始めた笛はあちこちのイベントや学校から演奏や講師の依頼が来る腕前です。また竹笛の製作にも長年、試行錯誤（しこうさくご）しながら取り組んでいて、年間300本近く作る竹笛を地元の小学校などに寄贈されています。

### 2 製作説明

初めに竹の採取に適した時期、採取後の竹をまっすぐにするまでの処理の仕方、長さや太さによる音の違いなどについて紹介がありました。続いて、笛づくりの工程や作業の注意点について実演を交えて詳しく説明がありました。

### 3 笛の製作①

あらかじめつけられた印どおりに吹き口と指穴を小刀でけずっていきます。竹が割れないよう慎重に少しずつ穴を大きくしていきます。参加者は、吹き口と7つの指穴を開けるのに1時間ほどかけて夢中で取り組んでいました。穴を開けたあとは、穴や笛の内側に紙やすりをかけてなめらかにします。

### 4 笛の製作②

吹き口の先に和紙をつめた上から松ヤニと蜜蝋（みつろう）と墨（すみ）の粉を合わせたものを焼きごてで溶かして蓋（ふた）をし、作業を終了しました。

### 5 演奏の練習

指やくちびるの当て方から教わりました。最初は音を出すことそのものに苦労し、初めて見る運指表や笛用の楽譜（がくふ）にもとまどいでしたが、練習を続けるうちに「ほたる」など音階が少ない曲が吹けるようになりました。

### 6 講師の模範演奏

「月の砂漠」などの美しく豊かな音色に聞き入りました。またウグイス笛や虫の音の笛も良い音色でした。講師が提供した笛が、実際に歌舞伎（かぶき）の音響効果（おんきょうこうか）にも使われているそうです。



講師の紹介



製作説明



笛の製作 ①



笛の製作 ②



演奏の練習風景



講師の模範演奏



いろいろな笛  
(ウグイス笛、虫の音など)